

# 奈良国立文化財研究所要綱

## I 事業概要

### 1 研究普及事業

#### 公開講演会

- (1) 1990年5月19日 第66回公開講演会  
 「弥生時代青銅器の役割」 岩永 省三  
 「奈良時代の鏡—平城京出土の唐式鏡—」  
 杉山 洋
- (2) 1990年11月17日 第67回公開講演会  
 「飛鳥地域の調査から」 深澤 芳樹  
 「二条大路で見つかった木簡  
 —長屋王邸のその後—」 館野 和己

#### 特別公開講演会

- 1990年10月6日  
 「新たに発見された都の北朝壁画墓」  
 「最近における中国考古学の発掘成果」  
 中国社会科学院考古研究所副所長 徐 光冀  
 〃 助理研究員 朱 延平

#### 現地説明会

- (1) 1990年6月30日 平城宮跡第214次  
 (兵部省北東隅) 渡邊 晃広
- (2) 1990年7月3日 坂田寺第6次  
 (見学会) 岩永 省三

- (3) 1990年7月7日 藤原宮跡第61次  
 立木 修
- (4) 1990年8月4日 平城宮跡第218次  
 (薬師寺北面回廊・講堂跡) 島田 敏男
- (5) 1990年9月29日 平城宮跡第217次西  
 (第一次大極殿地区) 館野 和己
- (6) 1990年11月10日 山田寺跡第8次山岸 常人
- (7) 1990年11月17日 平城宮跡第217次東  
 (第一次大極殿地区) 森本 晋
- (8) 1990年12月1日 石神遺跡第9次安田龍太郎
- (9) 1991年2月2日 平城宮跡第216次  
 (壬生門北) 寺崎 保広  
 玉田 芳英
- (10) 1991年3月2日 平城宮跡第219・221次  
 (西隆寺) 松本 修自  
 小野 健吉
- (11) 1991年3月16日 平城宮跡第220次  
 (式部省跡) 寺崎 保広

#### 平城宮跡資料館・遺構展示館

##### 見学者数

区 分	資料館	遺構展示館	計
1990年	66,853	76,088	142,941
累 計	1,100,165	1,425,178	2,525,343

資料館は1970年度、遺構展示館は1963年度以降の累計

## 2 1990年文部省科学研究費補助金による研究

種 別	研 究 課 題	研究代表者	交付額
総合研究 (A)	原始古代の環境復原に関する新方法の開発	佐原 真	2,000千円
総合研究 (B)	発掘調査における新システムの開発に関する研究	鈴木 嘉吉	2,100
一般研究 (A)	データベースの開発による近世社寺建築研究の総括	松本 修自	1,900
〃	寝殿造の総合的研究	宮本 長二郎	15,000
一般研究 (B)	石器製作経過復原と製作追試実験研究	松沢 亜生	8,000
一般研究 (C)	平城宮・京出土須恵器の分類と産地同定	巽 淳一郎	700
〃	石像文化財における経年変化の定量的解析に関する研究	内田 昭人	500
〃	古代地方官衙における曹司の研究—国衙・群衙を中心として—	山中 敏史	1,300

奨励研究 (A)	木簡による年代の決定に関する研究	寺崎保広	800
〃	近畿地方における縄文時代遺跡の比較研究	玉田芳英	800
〃	群倉における民族考古学—東アジアにおける系譜と意味—	浅川滋男	900
〃	コンピュータグラフィクスにおける古庭園の復原的研究	本中真	1,200
試験研究 (B)	地名データベースの作成と利用法の確立	木全敬蔵	700
〃	コンピュータグラフィクスによる埋蔵文化財情報の管理システムの開発	工楽善通	5,200
〃	航空写真情報データベース構築におけるデータ入力法の開発研究	伊東太作	1,200
計	15件		42,300

### 3 飛鳥資料館の運営

#### 展示

第一展示室 常設展示

第二展示室

春期特別展示「レンズを通した飛鳥」

1990.4.4～5.27 54日間

秋期特別展示「日本書紀を掘る」

1990.10.3～11.23 52日間

特別陳列「山田寺出土遺物陳列」

1991.1.15～2.11 25日間

#### 特別講演会

1990年10月13日

「日本書紀を掘る」 猪熊 兼勝

1990年10月17日

「日本書紀における蘇我氏の立場」平野 邦雄

1991年2月5日

「山田寺の調査と出土遺物」 大脇 潔

山岸 常人

#### 普及

インフィメーションルームにおいて観覧者の質問に応じている。

また、特別展示の刊行物として「復原の飛鳥」(絵葉書8枚)及び「日本書紀を掘る」(A4版70頁)を刊行した。

入館者数(1990.4.1～1991.3.31 開館日数314日)

区分	個人観覧	団体観覧	有料	無料	合計
一般	42,042	10,002	134,396	12,976	147,372
高・大生	9,330	16,936			
小・中生	10,948	45,138			
計	62,320	72,076			

#### 陳列品購入

山田寺仏頭(複製品)

#### 4 埋蔵文化財センターの研修・指導

**研修** 埋蔵文化財の保護に資することを目的として主に地方公共団体の埋蔵文化財保護行政担当者を対象に次の研修を実施した。

- (1) 平成2年度埋蔵文化財発掘技術者専門研修(保存科学基礎課程)  
1990年4月17日～4月27日(参加者18名)
- (2) 平成2年度埋蔵文化財発掘技術者専門研修(保存科学応用課程)  
1990年5月8日～5月22日(参加者5名)
- (3) 平成2年度埋蔵文化財発掘技術者専門研修(遺跡探査課程)  
1990年5月29日～6月8日(参加者11名)
- (4) 平成2年度埋蔵文化財発掘技術者専門研修(中近世窯器調査課程)  
1990年6月15日～6月26日(参加者32名)
- (5) 平成2年度埋蔵文化財発掘技術者専門研修(文化財写真課程)  
1990年7月3日～7月18日(参加者20名)

- (6) 平成2年度埋蔵文化財発掘技術者一般研修  
(一般課程)  
1990年7月24日～8月29日(参加者32名)
- (7) 平成2年度埋蔵文化財発掘技術者専門研修  
(遺跡測量課程)  
1990年9月5日～10月4日(参加者14名)
- (8) 平成2年度埋蔵文化財発掘技術者専門研修  
(環境考古課程)  
1990年10月11日～10月31日(参加者29名)
- (9) 平成2年度埋蔵文化財発掘技術者特別研修  
(埋蔵文化財基礎課程)  
1990年11月6日～11月14日(参加者40名)
- (10) 平成2年度埋蔵文化財発掘技術者特別研修  
(水田遺跡調査課程)  
1990年11月20日～11月30日(参加者36名)
- (11) 平成2年度埋蔵文化財発掘技術者専門研修  
(石器調査課程)  
1990年12月6日～12月18日(参加者20名)
- (12) 平成2年度埋蔵文化財発掘技術者特別研修  
(写真測量外注管理課程)  
1991年1月22日～1月25日(参加者42名)

### 研 修 員 一 覧 表

氏 名	所 属	受入れ期間	受入れ部局	研究・研修内容
伊 藤 幸 司	財大大阪市文化財協会調査課	1990.4.1～1991.3.31	埋蔵文化財センター	保存科学研修
梅 村 聖 一	東北歴史資料館技師	1990.5.23～1990.7.6 1990.10.8～1990.10.31	同 上	同 上
古 澤 良	三重県埋蔵文化財センター調査第1課主事	1990.7.1～1990.9.30	平城宮跡発掘調査部	発掘調査研修
齋 藤 直 樹	三重県埋蔵文化財センター調査第2課主事	同 上	藤原宮跡発掘調査部	同 上
バメラ・バンダイバー	アメリカ・スミソニアン研究機構保存科学研究員	1990.6.27～1990.7.19	埋蔵文化財センター	縄文土器研究
ワニー・ラハルディ・ワヒディ	国立インドネシア大学文学部講師	1990.9.17～1990.10.31	同 上	考古学研究
徐 光 翼	中国社会科学院考古研究所副所長	1990.9.25～1990.10.14	同 上	同 上
朱 延 平	中国社会科学院考古研究所助理研究員	同 上	同 上	同 上
朴 仁 俊	韓国国立中央博物館保存科学研究室学芸研究士	1990.11.20～1990.12.25	同 上	保存科学研究
安 秉 燦	韓国国立中央博物館学芸研究士	1990.11.26～1990.12.5	同 上	同 上
趙 由 典	韓国国立文化財研究所遺跡研究調査室長	1990.12.3～1990.12.12	同 上	同 上
申 昌 秀	韓国慶州文化財研究所学芸研究官	同 上	同 上	同 上
トム・チェイス	アメリカ・フリヤーギャラリー美術館保存科学研究室長	1991.1.12～1991.1.18	同 上	同 上
金 弘 柱	韓国国立清州博物館学芸研究室長	1991.1.21～1991.1.30	同 上	同 上
金 東 賢	韓国国立文化財研究所保存科学研究室長	1991.2.4～1991.2.10	同 上	同 上
リチャード・ニューマン	アメリカ・ボストン美術館研究員	1991.2.15～1991.4.14	同 上	同 上
ジョン・マイケル・ピーター・マローニー	イギリス・ロンドン博物館長	1991.2.17～1991.3.7	同 上	都市遺跡の保存活用の研究
李 相 沫	韓国国立中央博物館保存科学実験室長	1991.2.18～1991.2.27	同 上	保存科学研究
B.K. シャラン	インド考古局バトナ地方支局長	1991.2.18～1991.3.14	同 上	仏教遺跡研究
R.D. トリヴェディ	インド考古局副所長	同 上	同 上	同 上

ピーター・ブリード	ネブラスカ大学人類学教授	1991.2.25～1991.3.16	同 上	保存科学研究
張 慶 浩	韓国国立文化財研究所長	1991.3.5～1991.3.12	建造物研究室	建築史研究
チェブナット・ブラサツエット	タイ・シルパコン大学考古学部講師	1991.3.5～1991.3.21	埋蔵文化財センター	保存科学研究
セセブ・エカ・バルマナ	国立インドネシア大学文学部助手	1991.3.9～1991.3.22	同 上	同 上
ファドジャー・イブヌ・ツファイル	国立インドネシア科学研究所助手	1991.3.9～1991.3.22	埋蔵文化財センター	保存科学研究
レポーツカヤ・ガリーナ	ソ連科学アカデミーシベリヤ支部歴史・言語・哲学研究所研究員	1991.2.28～1991.4.10	同 上	同 上
シヨマコバ・エレナ	同 上	同 上	同 上	同 上
金 昌 俊	韓国文化財管理局宮園管理課係長	1991.3.18～1991.3.27	同 上	建築史学及び保存科学研究
文 煥 哲	韓国文化財研究所保存科学研究室研究員	1991.3.18～1991.3.27	同 上	同 上
李 鍾 宣	韓国湖巖美術館副館長	1991.3.26～1991.3.30	同 上	考古学及び保存科学研究
李 午 憲	韓国湖巖美術館保存科学研究室長	同 上	同 上	同 上

#### 発掘調査・保存・整備・探査等指導

(北海道) 開陽丸, 手宮洞窟, (岩手県) 盛岡城跡, 湯舟沢Ⅱ遺跡, 志波城跡, 毛越寺庭園, 国見山廃寺跡, (宮城県) 多賀城跡, 日の出山瓦窯跡群, (秋田県) 秋田城, 大湯環状列石, 払田棚跡, (山形県) 西沼田遺跡, (福島県) 慧日寺跡, 薬師堂石仏, 大戸古窯跡群, 根岸遺跡, (茨城県) 三村山清冷院極楽寺跡及び尼寺入廃寺跡, (栃木県) 足利学校跡, (群馬県) 栗崎八幡遺跡, 宇通遺跡, (東京都) 品川台場(第3及び第6台場), (神奈川県) 三殿台考古館住居跡, 旧太田家住宅, (富山県) 小杉丸山遺跡, (石川県) 能登国分寺, 須曾蝦夷穴古墳, マンダラ古墳, (福井県) 養浩館(旧御泉水屋敷)庭園, 行峠古墳, (長野県) 箕輪遺跡, 松原遺跡・川田糸里遺跡, 上田城跡, 真田氏館跡, (岐阜県) 美濃須衛古窯跡群内天狗古古窯, 加納城跡, 垣内遺跡, 塚原遺跡, 元屋敷陶器窯跡, 長塚古墳・高塚山古墳, (静岡県) 横須賀城跡, 滝峯才四郎谷遺跡, 片山廃寺, 久野城跡, (愛知県) 赤塚山古墳, 東畑廃寺跡, 青塚古墳, (三重県) 伊賀国府推定地, 重要文化財木造十一面観音立像, 縄生廃寺跡, 北畠氏館址庭園, 鈴鹿関所, (滋賀県) 宮山二号墳, 木村古墳群, 寂照寺宝篋印塔, 園城寺善法院庭園, 西羅1号墳・衣川廃寺跡・穴太廃寺跡・国分大塚古墳, 安土城跡, 粟津湖底遺跡貝塚, (京都府) 鹿苑寺庭園, 遠所

遺跡群, 京都大学北部構内遺跡, 山形古墳, 黒田古墳, 恭仁京跡, 八木嶋遺跡, 興戸遺跡, 大覚寺大沢池, 平等院庭園, 蛭子山・作山古墳, 賀茂御祖神社, (大阪府) 難波宮跡, 峯ヶ塚古墳, 池上曾根遺跡, 新池埴輪製作遺跡, 御獅子塚古墳, 狭山ダム景観, (兵庫県) 神子ヶ谷古墳群, 篠山城跡, 鶴庄荘園遺跡, 大開遺跡, 姫路城, 大部荘荘園, 西安田長野遺跡, カメ焼谷古墳群, 小山古墳, 播磨国分寺跡, 美乃利遺跡, 宅原遺跡, 砂入遺跡・袴狹遺跡, 落池遺跡, 中道子山城跡, 小犬丸遺跡, (和歌山県) 須恵器窯跡, (鳥取県) 伯耆国序跡, 羽衣石城, 鳥取城跡, 馬場遺跡, 梶山古墳, 上淀廃寺跡, (鳥根県) 石造五百羅漢座像群, 花仙山周辺地域出土旧石器, (岡山県) 備中高松城, 備中松山城跡, 美作国府跡, (広島県) 三ツ城古墳, 広島城跡, 中世城館跡, 草戸千軒町遺跡, 沼田市遺跡, (山口県) 萩城跡, 周防国府跡, 大内氏遺跡, 長登銅山跡, 朝田墳墓群, 綾羅木郷遺跡, 三田尻塩田記念公園釜, (香川県) 弘福寺鎮讃岐国山田郡田岡, 有岡古墳群(王墓山古墳), 讃岐国分寺跡, 十一面観音立像, 川上・丸井古墳, (愛媛県) 来往廃寺, 江口遺跡, (福岡県) 王塚古墳, 鴻臚館跡, 板付遺跡, (佐賀県) 吉野ヶ里遺跡, 名護屋城跡・陣跡, 肥前国府跡, 馬郡・竹原遺跡群, 基肆城跡, 大黒町遺跡, 築山経塚, (長崎県) 畑ノ原窯跡, 壱岐国分寺跡, (熊本県) 清

水原遺跡, (大分県) 普光寺磨崖仏, 免ヶ平古墳,  
大分元町石仏, 庄ノ原遺跡, (宮崎県) 垣下遺跡,  
東二原地下式横穴群, 蓮ヶ池横穴群, 国衙・郡  
衙・古寺跡, 下村窯跡, 陣内遺跡, (沖縄県) 平  
屋敷古島遺跡, 首里城跡, 湧田古窯跡, 糸数城跡

#### 埋蔵文化財ニュース刊行

- 第69号 開発事業別発掘届出等件数—10年間の推  
移 1978年と1988年  
第70号 漆製品出土遺跡分布図—西日本編—  
第71号 遺跡探査法

#### 5 その他

##### 委員会等

第16回飛鳥資料館運営協議会

1990年5月14日 於 飛鳥資料館

平城・飛鳥藤原宮跡調査整備指導委員会

1990年6月15・16日 於 平城宮跡資料館講堂

##### 外国出張

工楽善通, 沢田正昭, 伊東太作 日韓における考  
古遺物の材質的検討と保存法の開発研究のため,  
大韓民国へ出張

1990年6月5日～1990年6月14日

村上 隆 大英博物館国際会議並びに金属文化財  
の保存と材質に関する研究調査のため, 連合王  
国, ベルギー国へ出張

1990年6月13日～1990年6月24日

沢田正昭, 肥塚隆保 シベリア・バジリク王墓の  
発掘調査及び発達調査に伴う出土品の保存技術  
協力のため, ソビエト共和国へ出張

1990年7月27日～1990年8月14日

山本忠尚 シベリア・バジリク王墓の発掘調査の  
ため, ソビエト共和国へ出張

1990年7月27日～1990年8月17日

伊東太作 中国遼寧省凌源三官甸子「城子山」遺  
跡測量調査のため, 中華人民共和国へ出張

1990年10月10日～1990年10月31日

光谷拓実 年輪形成にかかわる各種環境要因の抽  
出方法と古気象の復原方法に関する研究のため,  
ドイツ国へ出張

1990年11月1日～1991年8月31日

肥塚隆保, 村上 隆 日韓における考古遺物の材  
質的検討と保存法の開発研究のため, 大韓民国

へ出張

1990年12月5日～1990年12月12日

町田 章 居延漢簡の実態調査のため, 中華民国  
へ出張

1990年12月23日～1990年12月29日

田中 琢 日本・インドネシアにおける民族文化  
の伝統と変容—口頭伝承の構造と機能—の研究  
のため, インドネシア国へ出張

1991年1月17日～1991年1月28日

山本忠尚 インド仏教遺跡の保存整備に関する基  
礎的調査研究のため, インド国へ出張

1991年1月22日～1991年2月4日

高瀬要一, 上原真人 インド仏教遺跡の保存整備  
に関する基礎的調査研究のため, インド国へ出  
張

1991年1月22日～1991年2月6日

町田 章 明石市主催「中国江蘇省南京博物院・  
無錫市博物館名宝展」にかかる展示物の選定の  
ため, 中華人民共和国へ出張

1991年2月1日～1991年2月7日

肥塚隆保, 岩永省三 東アジア地域の古文化財  
(青銅器及び土器・陶磁器)の保存科学的研究  
の調査のため, アメリカ合衆国へ出張

1991年2月11日～1991年2月22日

工楽善通, 沢田正昭 日韓における考古遺物の材  
質的検討と保存法の開発研究のため, 大韓民国  
へ出張

1991年2月27日～1991年3月8日

上野邦一 アンコール遺跡の保存修復に関する科  
学的・技術的調査及び研究のため, カンボジア  
国へ出張

1991年3月9日～1991年3月30日

##### 協力事業等

文化庁では1971年度から特別史跡藤原宮跡の国  
有化を進めており, 1972年度から当研究所が文化  
庁から支出委任を受けて買取事務を担当している  
が, 1990年度の状況は下記のとおりである。

区 分	面 積	金 額
1990年度	4,594.38	321,303,172
国有地合計	330,915.89	6,832,821,383

## II 図書及び資料

図書 123,138冊 (1991.3.31)

区分	種別	購入	寄贈	計
1990年度	和漢書	2,761	5,593	8,354
	洋書	318	92	410
累計	和漢書	49,104	66,826	115,930
	洋書	5,800	1,408	7,208

写真 434,007点 (1990年度末)

## III 研究成果刊行物

### 1 1990年度刊行物

	名	称
学報	第48冊	年輪に歴史を読む—日本における古年輪学の成立—
	第49冊	研究論集IX
	第50冊	平城宮発掘調査報告 XIII
図録	第23冊	日本書紀を掘る
報告書等	1990年度平城宮跡発掘調査部発掘調査概報	
	飛鳥・藤原宮発掘調査概報21	
	平城宮発掘調査出土木簡概報22	
	平城宮発掘調査出土木簡概報23	

### 2 前年度までの刊行物

奈良国立文化財研究所学報

年度	名	称
1954	第1冊	仏師運慶の研究
	第2冊	修学院離宮の復原的研究
1955	第3冊	文化史論叢
1956	第4冊	奈良時代僧房の研究
1957	第5冊	飛鳥寺発掘調査報告
1958	第6冊	中世庭園文化史
	第7冊	興福寺食堂発掘調査報告
1959	第8冊	文化史論叢 II
	第9冊	川原寺発掘調査報告
1960	第10冊	平城宮跡第一次・伝飛鳥板蓋宮跡発掘調査報告
1961	第11冊	院の御所と御堂—院家建築の研究—
1962	第12冊	巧匠安阿弥陀仏快慶
	第13冊	寝殿造系庭園の立地的考察
	第14冊	唐招提寺蔵「レース」と「金亀舍利塔」に関する研究
	第15冊	平城宮発掘調査報告 II 官衙地域の調査

1963	第16冊	平城宮発掘調査報告 III 内裏地域の調査
1965	第17冊	平城宮発掘調査報告 IV 官衙地域の調査
	第18冊	小堀遠州の作事
1967	第19冊	藤原氏の氏寺とその院家
1969	第20冊	名物裂の成立
1971	第21冊	研究論集 I
1973	第22冊	研究論集 II
1974	第23冊	平城宮発掘調査報告 VI 平城京左京一条三坊の調査
	第24冊	高山一町並調査報告—
1975	第25冊	平城京左京三条二坊
	第26冊	平城宮発掘調査報告 VII
	第27冊	飛鳥・藤原宮発掘調査報告 I
	第28冊	研究論集 III
	第29冊	木曾奈良井一町並調査報告—
1976	第30冊	五条一町並調査の記録—
1977	第31冊	飛鳥・藤原宮発掘調査報告 II
	第32冊	研究論集 IV
	第33冊	イタリア中部の一山岳集落における民家調査報告
	第34冊	平城宮発掘調査報告 IX
1978	第35冊	研究論集 V
	第36冊	平城宮整備調査報告 I
1979	第37冊	飛鳥・藤原宮発掘調査報告 III
	第38冊	研究論集 VI
1980	第39冊	平城宮発掘調査報告 X
1981	第40冊	平城宮発掘調査報告 XI
1984	第41冊	研究論集 VII
	第42冊	平城宮発掘調査報告 XII
	第43冊	日本における近世民家(農家)の系統的発展
1985	第44冊	平城京左京三条二坊六坪発掘調査報告
1986	第45冊	薬師寺発掘調査報告
1988	第46冊	平城京右京八条一坊十三・十四坪発掘調査報告書
1988	第47冊	研究論集 VIII

奈良国立文化財研究所史料

年度	名	称
1954	第1冊	南無阿弥陀仏作善集(複製)
1955	第2冊	西大寺叡尊伝記集成
1963	第3冊	仁和寺史料 寺誌編 1
1964	第4冊	俊乗坊重源史料集成
1966	第5冊	平城宮木簡 1 図版
1967	第6冊	仁和寺史料 寺誌編 2

1969	第5冊	平城宮木簡1 解説(別冊)
1970	第7冊	唐招提寺史料1
1974	第8冊	平城宮木簡2 図版・解説
	第9冊	日本美術院彫刻等修理記録Ⅰ
1975	第10冊	日本美術院彫刻等修理記録Ⅱ
1976	第11冊	日本美術院彫刻等修理記録Ⅲ
1977	第12冊	藤原宮木簡1 図版・解説
	第13冊	日本美術院彫刻等修理記録Ⅳ
1978	第14冊	日本美術院彫刻等修理記録Ⅴ
	第15冊	東大寺文書目録第1巻
1979	第16冊	日本美術院彫刻等修理記録Ⅵ
	第17冊	平城宮木簡3 図版・解説
	第18冊	藤原宮木簡2 図版・解説
	第19冊	東大寺文書目録第2巻
1980	第20冊	日本美術院彫刻等修理記録Ⅶ
	第21冊	東大寺文書目録第3巻
1981	第22冊	七大寺巡礼私記
	第23冊	東大寺文書目録第4巻
1982	第24冊	東大寺文書目録第5巻
	第25冊	平城宮出土墨書土器集成Ⅰ
1983	第26冊	東大寺文書目録第6巻
1984	第27冊	木器集成図録—近畿古代編—
1985	第28冊	平城宮木簡4 図版・解説
	第29冊	興福寺典籍文書目録第1巻
1988	第30冊	山内清男考古資料1 真福寺貝塚資料他
	第31冊	平城宮出土墨書土器集成Ⅱ
1989	第32冊	山内清男考古資料2

1979	第6冊	飛鳥時代の古墳—高松塚とその周辺—
1980	第7冊	日本古代の鷗尾
1981	第8冊	山田寺展
1982	第9冊	高松塚拾年
1983	第10冊	渡来人の寺—陰隈寺と坂田寺—
	第11冊	飛鳥の水時計
	第12冊	小建築の世界—埴輪から瓦塔まで—
1984	第13冊	藤原宮—半世紀にわたる調査と研究—
1985	第14冊	日本と韓国の塑像
	第15冊	飛鳥寺
1986	第16冊	飛鳥の石造物
1987	第17冊	萬葉乃衣食住
	第18冊	壬申の乱
1988	第19冊	古墳を科学する
	第20冊	聖徳太子の世界
1989	第21冊	仏舍利埋納
	第22冊	法隆寺金堂壁画飛天

#### Ⅳ 定員

区分	指定職	行政職(一)	行政職(二)	研究職	計
1990年度	1	22	3	60	86
1991年度	1	22	2	61	86

#### 奈良国立文化財研究所基準資料

年度	名 称
1973	第1冊 瓦編1 解説
1974	第2冊 瓦編2 解説
1975	第3冊 瓦編3
1976	第4冊 瓦編4
	第5冊 瓦編5
1978	第6冊 瓦編6
1979	第7冊 瓦編7
1980	第8冊 瓦編8
1983	第9冊 瓦編9

#### 飛鳥資料館図録

年度	名 称
1976	第1冊 飛鳥白鳳の在銘金銅仏
	第2冊 飛鳥白鳳の在銘金銅仏 銘文篇
1977	第3冊 日本古代の墓誌
1978	第4冊 日本古代の墓誌 銘文篇
	第5冊 古代の誕生仏

#### Ⅴ 予 算 (1990年度)

人件費	615,427千円
運営費	893,167
事業管理	7,740
一般会計	57,086
特別研究	40,257
発掘調査	491,038
宮跡整備管理	67,151
飛鳥資料館運営	47,700
埋蔵文化財センター運営	48,209
新庁舎維持管理等経費	27,643
飛鳥藤原宮跡発掘調査部 施設新営に伴う経費	106,343
施設費	357,681
施設整備費	18,840
平城宮跡等整備費	324,553
各所修繕費	14,288
計	1,866,275

VI 施設

土地

奈良国立文化財研究所所管	47,890m <sup>2</sup>
本庁舎	8,860m <sup>2</sup>
飛鳥藤原宮跡発掘調査部	20,515m <sup>2</sup>
飛鳥資料館	17,092m <sup>2</sup>
郡山宿舎(二)	80m <sup>2</sup>
飛鳥資料館宿舎	1,343m <sup>2</sup>
文化庁所管(関係分)	1,417,996m <sup>2</sup>
平城宮跡地区	1,082,254m <sup>2</sup>
藤原宮跡地区	330,701m <sup>2</sup>
飛鳥稲淵宮殿跡地区	5,041m <sup>2</sup>

建物 28,352m<sup>2</sup>

1. 庁舎 27,761m<sup>2</sup>

区分	本庁舎	平城	藤原	飛鳥資料館	藤原宮跡	計
	m <sup>2</sup>					
事務室	568	122	197	90		977
研究・整理室	1,419	1,368	1,205	77		4,069
資料・図書室	1,021		383	36		1,440
会議室	338		129	42		509
講堂		384	210	89		683
展示室		845	254	648		1,747
写真室	79	256	149	64		548
遺構展示棟		1,408				1,408
車庫	84	968	352	94		1,498
倉庫・収蔵庫	123	4,728	2,041	480		7,372
研修棟	1,416					1,416
その他	1,673	1,818	1,506	1,061	36	6,094
計	6,721	11,897	6,426	2,681	36	27,761

2. 宿舎等 591m<sup>2</sup>

重要文化財旧米谷家住宅 213m<sup>2</sup>

郡山宿舎(一), (二) 153m<sup>2</sup>

飛鳥資料館宿舎 225m<sup>2</sup>

主要工事

(1) 平城宮跡地等整備費 千円

平城宮跡整備棟周辺外溝整備工事 29,561

平城宮跡宮内省西南殿復原その2工事 24,411

平城宮跡旧整備棟他とりこわし工事 3,903

平城宮跡宮内省南殿第一殿屋根葺替工事 15,923

平城宮跡第2次朝堂院整備工事 117,317

平城宮跡内裏井戸跡原寸模型補修工事 3,554

平城宮跡朱雀門基壇復原平成2年度工事 84,769

平城宮跡内裏地区苑路舗装等工事 10,712

平城宮跡外灯・動力設備取設工事 14,214

(2) 官庁営繕費

奈文研大型遺物処理棟建築工事(平成2年度分) 18,540

飛鳥資料館身障整備工事 11,330

(3) その他(各所修繕・庁費)

本庁舎吸収式冷温水ユニット設備整備工事 2,039

研修寄宿棟管理人室等改修工事 9,316

飛鳥藤原宮跡発掘調査部保存科学実験室取設工事 11,103

VII 人事移動 (1990.4.1~1991.3.31)

4月1日 奈良国立文化財研究所長(再任)

鈴木 嘉吉

庶務部長に配置換 小菅 康男

庶務部会計課長に昇任 松岡 進

庶務部会計課課長補佐に昇任

小野 祐治

庶務部会計課専門職員(施設係長)に

昇任 阪本 勇

飛鳥藤原宮跡発掘調査部考古第二調査

室長に昇任 大脇 潔

歴史研究室長に配置換 綾村 宏

平城宮跡発掘調査部考古第二調査室に

配置換 杉山 洋

飛鳥資料館主任研究官に配置換

千田 剛道

平城宮跡発掘調査部主任研究官に転任

山崎 信二

文部技官(平城宮跡発掘調査部主任研

究官)に採用 館野 和己

研究補佐員(飛鳥藤原宮跡発掘調査

部)に採用 相原 嘉之

研究補佐員(飛鳥藤原宮跡発掘調査

部)に採用 佐伯 博光

京都大学化学研究所事務部長に転任

廣瀬 了平

愛知教育大学経理部主計課長に転任

小川 照夫

京都大学大型計算機センター事務長補

佐に転任 川合 教博

大阪大学医学部付属病院管理課施設掛

長に転任 井元 正澄  
文化庁文化財保護部記念物課文化財調査官に転任 井上 和人  
東京学芸大学（第三部）教授に転任 木下 正史

5月1日 平城宮跡発掘調査部考古第三調査室長に昇任 山崎 信二  
平城宮跡発掘調査部考古第二調査室長に配置換 毛利光俊彦  
文化庁文化財保護部美術工芸課主任文化財調査官に転任 田辺 征夫

7月1日 平城宮跡発掘調査部主任研究官に昇任 佐川 正敏  
平城宮跡発掘調査部主任研究官に昇任 本中 真  
平城宮跡発掘調査部主任研究官に昇任 寺崎 保広  
飛鳥藤原宮跡発掘調査部主任研究官に昇任 深澤 芳樹  
飛鳥藤原宮跡発掘調査部主任研究官に昇任 橋本 義則  
埋蔵文化財センター研究指導部主任研究官に昇任 松井 章  
事務補佐員（飛鳥藤原宮跡発掘調査部）に採用 直嶋佐和子

10月1日 飛鳥藤原宮跡発掘調査部主任研究官に配置換 肥塚 隆保  
辞職 南 時夫

10月17日 辞職 山下 洋子

11月1日 庶務部庶務課に転任 桑原 隆佳  
奈良工業高等専門学校会計課に転任 石田 義則  
辞職 西嶋 富美

1月1日 埋蔵文化財センター研究指導部遺物処理研究室に配置換 村上 隆  
平城宮跡発掘調査部考古第一調査室に併任（文化庁建造物課） 中村 慎一

1月10日 事務補佐員（庶務部会計課）に採用 永井 和代

1月15日 辞職 橋元 敬子

3月31日 辞職 森田 光治

## Ⅷ 組織規程

### 文部省組織令〈抜粋〉

昭和59年6月28日 政令第227号

#### 第2章 文化庁

##### 第3節 施設等機関

（施設等機関）

第108条 文化庁長官の所轄の下に、文化庁に国立国語研究所を置く。

2 前項に定めるもののほか、文化庁に次の施設等機関を置く。

（中略）

国立文化財研究所

（国立文化財研究所）

第114条 国立文化財研究所は、文化財に関する調査研究、資料の作成及びその公表を行う機関とする。

2 国立文化財研究所には、支所を置くことができる。

3 国立文化財研究所及びその支所の名称、位置及び内部組織は、文部省令で定める。

### 文部省設置法施行規則〈抜粋〉

昭和28年1月13日 文部省令第2号

#### 第5章 文化庁の施設等機関

##### 第4節 国立文化財研究所

###### 第1款 名称及び位置

（名称及び位置）

第116条の9 国立文化財研究所の名称及び位置は、次の表に掲げるとおりとする。

名 称	位 置
東京国立文化財研究所	東京都台東区
奈良国立文化財研究所	奈良県奈良市

###### 第2款 奈良国立文化財研究所

（所長）

第123条 奈良国立文化財研究所に、所長を置く。

2 所長は、所務を掌理する。

（内部組織）

第124条 奈良国立文化財研究所に、庶務部、建造物研究室及び歴史研究室並びに平城宮跡発掘調査部及び飛鳥藤原宮跡発掘調査部を置く。

2 前項に定めるもののほか、奈良国立文化財研究所に、飛鳥資料館及び埋蔵文化財センターを置く。

(庶務部の分課及び事務)

第125条 庶務部に、次の二課を置く。

- 一 庶務課
  - 二 会計課
- 2 庶務課においては、次の事務をつかさどる。
- 一 職員の人事に関する事務を処理すること。
  - 二 職員の福利厚生に関する事務を処理すること。
  - 三 公文書類の接受及び公印の管守その他庶務に関すること。
  - 四 この研究所の所掌事務に関し、連絡調整すること。
  - 五 この研究所の所掌に係る遺構及び遺物の保全のための警備に関すること。
  - 六 前各号に掲げるもののほか、他の所掌に属しない事務を処理すること。
- 3 会計課においては、次の事務をつかさどる。
- 一 予算に関する事務を処理すること。
  - 二 経費及び収入の決算その他会計に関する事務を処理すること。
  - 三 行政財産及び物品の管理に関する事務を処理すること。
  - 四 庁舎及び設備の維持、管理に関する事務を処理すること。
  - 五 庁内の取締りに関すること。

第126条 削除

(建造物研究室等の事務)

第127条 建造物研究室においては、建造物及び伝統的建造物群に関する調査研究を行い、並びにその結果の公表を行う。

2 歴史研究室においては、考古及び史跡並びに歴史資料に関する調査研究を行い、並びにその結果の公表を行う。

(平城宮跡発掘調査部の六室及び事務)

第128条 平城宮跡発掘調査部に、考古第一調査室、考古第二調査室、考古第三調査室、遺構調査室、計測修景調査室及び史料調査室を置く。

2 前項の各室においては、平城宮跡に関し、次項から第6項までに定める事務を処理するほか、その発掘を行う。

3 考古第一調査室、考古第二調査室及び考古第三調査室においては、別に定めるところにより分担して、遺物(木簡を除く。)の保存整理及び調査研究並びにこれらの結果の公表を行う。

4 遺構調査室においては、遺構の保存整理及び調査研究並びにこれらの結果の公表を行う。

5 計測修景調査室においては、遺構の計測及び修景並びにこれらに関する調査研究並びにこれらの結果の公表を行う。

6 史料調査室においては、木簡の保存整理及び調査研究、史料の収集及び調査研究並びにこれらの結果の公表を行う。

(飛鳥藤原宮跡発掘調査部の四室及び事務)

第129条 飛鳥藤原宮跡発掘調査部に、考古第一調査室、考古第二調査室、遺構調査室及び史料調査室を置く。

2 前項の各室においては、藤原宮跡及び飛鳥地域における宮跡その他の遺跡に関し、次項から第5項までに定める事務を処理するほか、その発掘を行う。

3 考古第一調査室及び考古第二調査室においては、別に定めるところにより分担して、遺物(木簡を除く。)の保存整理及び調査研究並びにこれらの結果の公表を行う。

4 遺構調査室においては、遺構の保存整理及び調査研究、遺構の計測及び修景並びにこれらに関する調査研究並びにこれらの結果の公表を行う。

5 史料調査室においては、木簡の保存整理及び調査研究、史料の収集及び調査研究並びにこれらの結果の公表を行う。

(飛鳥資料館)

第130条 飛鳥資料館においては、飛鳥地域の歴史的意義及び文化財に関し、国民の理解を深めるため、この地域に関する考古資料、歴史資料その他の資料を収集し、保管して公衆の観覧に供し、あわせてこれらに関連する調査研究及び事業を行う。

(飛鳥資料館の館長)

第131条 飛鳥資料館に、館長を置く。

2 館長は、館務を掌理する。

(飛鳥資料館の二室及び事務)

第132条 飛鳥資料館に、庶務室及び学芸室を置く。

2 庶務室においては、飛鳥資料館の庶務、会計等に関する事務を処理する。

3 学芸室においては、次の事務をつかさどる。

一 飛鳥地域に関する考古資料、歴史資料、建

造物、絵画、彫刻、典籍、古文書その他の資料の収集、保管、展示、模写、模造、写真の作成、調査研究及び解説を行うこと。

二 飛鳥地域に関する図書、写真その他の資料の収集、整理、保管、展示、閲覧及び調査研究を行うこと。

三 飛鳥資料館の事業に関する出版物の編集及び刊行並びに普及宣伝を行うこと。

(埋蔵文化財センター)

第133条 埋蔵文化財センターにおいては、次の事務をつかさどる。

一 埋蔵文化財に関し、調査研究及びその結果の公表を行うこと。

二 埋蔵文化財の調査及び保存整理に関し、地方公共団体の埋蔵文化財調査関係職員その他の関係者に対して、専門的、技術的な研修を行うこと。

三 埋蔵文化財の調査及び保存整理に関し、地方公共団体の機関その他関係の機関及び団体等の求めに応じ、専門的、技術的な指導及び助言を行うこと。

四 埋蔵文化財に関する情報資料の作成、収集、整理、保管及び調査研究を行い、並びに地方公共団体の機関その他関係の機関及び団体等の求めに応じ、その利用に供すること。

(埋蔵文化財センターの長)

第134条 埋蔵文化財センターに長を置く。

2 前項の長は、埋蔵文化財センターの事務を掌理する。

(埋蔵文化財センターの内部組織)

第135条 埋蔵文化財センターに、教務室、研究指導部及び情報資料室を置く。

(教務室の事務)

第136条 教務室においては、研修の実施に関する事務を処理するほか、埋蔵文化財センターの庶務に関する事務をつかさどる。

(研究指導部の六室及び事務)

第137条 研究指導部に、考古計画研究室、集落遺跡研究室、発掘技術研究室、遺物処理研究室、測量研究室及び保存工学研究室を置く。

2 考古計画研究室においては、第133条第1号から第3号までに掲げる事務(他の室の所掌に属するものを除く。)をつかさどる。

3 集落遺跡研究室においては、集落遺跡に関し、

第133条第1号から第3号までに掲げる事務(発掘技術研究室、遺物処理研究室、測量研究室及び保存工学研究室の所掌に属するものを除く。)をつかさどる。

4 発掘技術研究室においては、遺跡の発掘技術に関し、第133条第1号から第3号までに掲げる事務をつかさどる。

5 遺物処理研究室においては、遺物の処理に関し、第133条第1号から第3号までに掲げる事務をつかさどる。

6 測量研究室においては、埋蔵文化財の測量に関し、第133条第1号から第3号までに掲げる事務をつかさどる。

7 保存工学研究室においては、遺跡の保存整備に関し、第133条第1号から第3号までに掲げる事務をつかさどる。

(情報資料室の事務)

第138条 情報資料室においては、第133条第4号に掲げる事務をつかさどる。

(客員研究員)

第139条 奈良国立文化財研究所に客員研究員を置くことができる。

2 客員研究員は、所長の命を受け、奈良国立文化財研究所において行う調査研究に参画する。

3 客員研究員は、非常勤とする。

改正 昭和43年6月15日 文部省令第20号

昭和45年4月17日 文部省令第11号

昭和48年4月12日 文部省令第6号

昭和49年4月11日 文部省令第10号

昭和50年4月2日 文部省令第13号

昭和51年5月10日 文部省令第16号

昭和52年4月18日 文部省令第10号

昭和53年4月5日 文部省令第19号

昭和53年9月9日 文部省令第33号

昭和55年4月5日 文部省令第14号

昭和55年6月25日 文部省令第23号

昭和58年10月1日 文部省令第25号

昭和59年6月30日 文部省令第37号

昭和63年4月8日 文部省令第12号

職員 (1991年7月1日現在)

所属	氏名	官職	担当	
	鈴木 嘉吉	文部技官 所長		
庶務課	小菅 康男	文部事務官 部長		
	中川 良和	文部事務官 課長	長 平城事務	
	石塚 幸男	文部事務官 課長	補 佐員	
	西田 健三	文部事務官 専門職員	係 長	
	美濃越 進	文部事務官 庶務係	係 長	
	桑原 隆佳	文部事務官	庶務人 事務	
	岡田 博元	文部事務官 警務員	警務 備務	
	港 悦子	事務補佐員	庶務 務務	
	大西 和子	事務補佐員	庶務 務務	
	福本 良子	事務補佐員	庶務 務務	
	新宮 恵子	事務補佐員	庶務 務務	
	巽 月子	事務補佐員	庶務 務務	
	本中 宣代	事務補佐員	図書資料	
	中川 かよ子	事務補佐員	図書資料	
	中垣 睦美	事務補佐員	図書資料	
	溝上 裕子	事務補佐員	図書資料	
	石川 千恵子	研究補佐員	公 開	
	庶務課	松岡 進	文部事務官 課長	長 補 佐員
		津田富士夫	文部事務官 課長	補 佐員
小野 祐治		文部事務官 課長	門 職 員	
渡辺 康史		文部技官 専門職員	係 長	
阪本 勇		文部技官 専門職員	係 長	
櫻井 雅樹		文部事務官 経理係	主任	
新湯 淳史		文部事務官 経理	主任	
林 正一郎		文部事務官	主任	
穴戸 雅子		事務補佐員	経 理	
河村 京子		事務補佐員	経 理	
森本 はぎ子		事務補佐員	経 理	
小林 雅文		文部事務官 用度係	係 長	
松本 正典		文部事務官	用 度	
飯田 信男		文部技官	自動車運 転	
小坂由紀子		事務補佐員	用 度	
細井 雅子		事務補佐員	用 度	
阪本 勇		文部技官 施設係長(兼任)		
小園 秀彦		文部技官	施 設	
永井 和代		事務補佐員	施 設	
米田 淳子	事務補佐員	施 設		
建造物研究室	細見 啓三	文部技官 室長	建 築	
	山岸 常人	文部技官 (併任)	建 築	
	浅川 滋男	文部技官 (併任)	建 築	
	島田 敏男	文部技官 (併任)	建 築	
	小野 健吉	文部技官 (併任)	遺 跡 庭 園	
	田中 淡	調査員 (非常勤)	建 築	
	綾村 宏	文部技官 室長	歴 史	
	小池 伸彦	文部技官 (併任)	考 古	
	森 公章	文部技官 (併任)	考 古	
	花谷 浩	文部技官 (併任)	考 古	
歴史研究室	橋本 義則	文部技官 (併任)	歴 史	
	松井 章	文部技官 (併任)	考 古	
	堀池 春峰	調査員 (非常勤)	歴 史	
	岩本 次郎	調査員 (非常勤)	歴 史	

所属	氏名	官職	担当				
考古第一調査室	町田 章	文部技官 部長					
	金子 裕之	文部技官 室長	考 古				
	小池 伸彦	文部技官	考 古				
	森本 晋	文部技官	考 古				
	中村 慎一	文部技官	考 古				
	考古第二調査室	毛利光俊彦	文部技官 室長	考 古			
		玉田 芳英	文部技官	考 古			
		巽 淳一郎	文部技官 (併任)	考 古			
		杉山 洋	文部技官 (併任)	考 古			
		考古第三調査室	山崎 信二	文部技官 室長	考 古		
			小澤 毅	文部技官	考 古		
			岸本 直文	文部技官	考 古		
			佐川 正敏	文部技官 (併任)	考 古		
			遺構調査室	上野 那一	文部技官 室長	建 築	
				浅川 滋男	文部技官	建 築	
				島田 敏男	文部技官	建 築	
				松本 修自	文部技官 (併任)	建 築	
				景観調査室	高瀬 要一	文部技官 室長	遺 跡 庭 園
					小野 健吉	文部技官	遺 跡 庭 園
本中 真					文部技官 (併任)	遺 跡 庭 園	
史料調査室					町田 章	文部技官 室長(事務取扱)	
					森 公章	文部技官	歴 史
					渡邊 晃宏	文部技官	歴 史
					館野 和己	文部技官 (併任)	歴 史
	寺崎 保広				文部技官 (併任)	歴 史	
	調査部				巽 淳一郎	文部技官 主任 研究官	考 古
					松本 修自	文部技官 主任 研究官	建 築
					館野 和己	文部技官 主任 研究官	歴 史
		本中 真			文部技官 主任 研究官	遺 跡 庭 園	
		寺崎 保広			文部技官 主任 研究官	歴 史	
		佐川 正敏			文部技官 主任 研究官	考 古	
		杉山 洋			文部技官 主任 研究官	考 古	
		西田 健三	文部事務官 事務総括(兼任)		事 務		
		岡田 博元	文部事務官 (兼任)		警 備		
		佃 幹雄	文部技官 専門職員		写 真		
		井上 直夫	文部技官 専門職員		写 真		
		牛島 茂	文部技官 専門職員	写 真			
		飛鳥藤原宮跡発掘調査室	牛川 喜幸	文部技官 部長			
			黒崎 直	文部技官 室長	考 古		
花谷 浩			文部技官 (併任)	考 古			
深澤 芳樹			文部技官 (併任)	考 古			
井上 直夫			文部技官 (併任)	写 真			
大西口肥塚岩永			大 鵬 潔	文部技官 室長	考 古		
			西口 寿生	文部技官 (併任)	考 古		
	肥塚 隆保		文部技官 (併任)	考 古			
	岩永 省三		文部技官 (併任)	考 古			

所属	氏名	官職	担当
飛鳥史料調査室	山本 忠尚	文部技官室長	考 古
	山岸 常人	文部技官(併任)	建 築
	川越 俊一	文部技官室長	考 古
	安田龍太郎	文部技官(併任)	考 古
	立木 修	文部技官(併任)	古 史
	橋本 義則	文部技官(併任)	史 学
	安田龍太郎	文部技官主任 研究官	古 史
	西口 寿生	文部技官主任 研究官	古 史
	肥塚 隆保	文部技官主任 研究官	保存科
	山岸 常人	文部技官主任 研究官	建築
宮跡発掘調査部	立木 修	文部技官主任 研究官	古 史
	深澤 芳樹	文部技官主任 研究官	古 史
	橋本 義則	文部技官主任 研究官	古 史
	岩永 省三	文部技官主任 研究官	古 史
	櫻井 雅樹	文部事務官 事務総括(併任)	古 史
	吉岡 佐和子	事務補佐員	古 史
	稲垣 耕正	技能補佐員	自動車運転
	平山 重利	技能補佐員	保守
	宮川 相原	研究補佐員	資料整理
	佐伯 博光	研究補佐員	古 史
飛鳥史料調査室	村田 裕一	研究補佐員	古 史
	伊藤 武	研究補佐員	古 史
	鈴木 嘉吉	文部技官館長(事務取扱)	
	柿本 治	文部事務官室長	
	中西 建夫	文部事務官 庶務主任	
	乾 春雄	技能補佐員	保 警
	藤本 清	警務補佐員	備 庁
	福井 敏子	業務補佐員	務 務
	猪熊 兼勝	文部技官室長	考 古
	岩本 圭輔	文部技官主任 研究官	考 古
芸館	千田 剛道	文部技官主任 研究官	考 古
	大谷 照子	事務補佐員	古 史
	藤沢 一夫	調査員(非常勤)	古 史

所属	氏名	官職	担当
埋蔵文化財指導部	田中 琢	文部技官 センター長	
	臼井 国明	文部事務官室長	事 務
	新井 伸一	文部事務官	事 務
	岩永 惠子	事務補佐員	写 真
	牛嶋 茂	文部技官(併任)	
	佐原 真	文部技官部長	
	松沢 亜生	文部技官室長	考 古
	山中 敏史	文部技官(併任)	考 古
	工楽 善通	文部技官室長	考 古
	上原 真人	文部技官(併任)	考 古
埋蔵文化財指導部	西村 康章	文部技官室長	考 古
	松井 章	文部技官(併任)	考 古
	沢田 正昭	文部技官室長	保存科学
	村上 隆	文部技官	保存科学
	測量研究室		
	木全 敬蔵	文部技官室長	測 量
	光谷 拓実	文部技官(併任)	遺跡庭園
	松井 章	文部技官(併任)	考 古
	保存工學研究室		
	佐原 真	文部技官室長(事務取扱)	建 築
内田 昭人	文部技官(併任)		
埋蔵文化財指導部	山中 敏史	文部技官主任 研究官	考 古
	光谷 拓実	文部技官主任 研究官	遺跡庭園
	上原 真人	文部技官主任 研究官	考 古
	内田 昭人	文部技官主任 研究官	建 築
	松井 章	文部技官主任 研究官	考 古
	情報資料室		
	伊東 太作	文部技官室長	測 量
	杉田 繁治	調査員(非常勤)	埋文情報
	泉 拓良	調査員(非常勤)	埋文情報

